

# 社会福祉基礎

## 「認知症サポーター養成講座」

令和5年10月6日

秦野市高齢福祉課のご協力により「認知症サポーター養成講座」を受講しました。

これは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を地域で温かく見守る「認知症サポーター」になるための講座です。



基礎知識を学んだ後、ロールプレイを行いました。「認知症の方への声かけ」をテーマに、目線や会話の速さ、説明の仕方などを工夫し、認知症の方とのコミュニケーションを疑似体験しました。

講座終了後には、「認知症サポーター認定証」と認知症のイメージカラーであるオレンジ色のロバのマスコットをいただきました。

### 【生徒の感想】

- ・私は認知症の知識がなくて、接し方が分からないことがありましたが、今回受講して理解を深めることができました。演技をして実際のように対応し、接し方が理解できました。
- ・認知症の人に接するときは、特に柔らかく物事を伝えるということを心がけてみようと思いました。
- ・実際に関わっている方々の体験やビデオ、ロールプレイなどを踏まえて認知症の方への対応の仕方が少し分かったと思います。
- ・認知症の方には強い口調で話しかけるのではなく、自尊心を壊さないように優しい口調で分からないことは教えてあげることが大切だと思いました。気にかけてあげることも認知症の人にとっては安心する一つの手手段だと分かりました。
- ・みんなが安心して暮らせる地域を作る貢献をしたいと思いました。
- ・今回学んだことを生かし、優しい対応を心がけたいと思いました。